

令和6年5月24日

## 鳥取大学と西日本旅客鉄道、広島大学が共同研究を開始 森林（鉄道林）再生で地域貢献を目指す！

### 【概要】

森林は土砂災害防止、CO<sub>2</sub>吸収など様々な役割（多面的機能）や木材供給を担っています。ところが、適切な管理が行われない森林では表土流失や倒木などの災害リスクも高まります。鉄道会社が線路や列車の安全を確保するために所有する森林（鉄道林）も様々な機能を有していますが、それらの機能を持続的に発揮、維持するための効率的な管理方法の確立が求められています。

そこで、鳥取大学は西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR西日本）および国立大学法人 広島大学と2024年5月1日付けで共同研究契約を締結し、JR西日本が所有する森林（鉄道林）を対象に森林再生実証実験を進めることに合意致しました。

本取り組みによって森林（鉄道林）が持つ多面的機能、木材生産機能を効果的に発揮させ、地域に貢献することを目指して参ります。

### 【詳細】

場 所：旧三江線竹・乙原間 竹1号林（島根県邑智郡美郷町乙原）

面積約5.8ha、スギ、ヒノキ等の人工林、樹齢50年程度

期 間：令和6年5月～令和7年3月末日（伐採実証は令和6年秋頃）

主な研究課題：

- ①鉄道林および周辺森林の森林資源の活用可能性評価
- ②線路敷を活用した木材搬出技術の実証、評価
- ③野生動物対策を考慮した再造林計画の検討等

参考資料：別紙

### 【今後の展開】

今回の実証実験をとおして鉄道林からの木材生産技術や、周辺森林を含めた森林の多面的機能の維持・増進技術を確立して参ります。これにより、健全な森林の育成に繋げると共に、森林（鉄道林）や沿線の他の森林の木材生産・再造林等の促進に貢献することが期待されます。

今回の取り組みを契機にJR西日本を中心に森林（鉄道林）を舞台にした都会と中山間地域の住民が参加する森林活用ワークショップなどの開催による関係人口、交流人口の拡大にも取り組んで参ります。

**【お問い合わせ先】**

<研究内容に関すること>

鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター 准教授 山中啓介

TEL : 0857-31-5604

E-mail : yama-kei@tottori-u.ac.jp

<報道に関すること>

鳥取大学総務企画部総務企画課広報企画室

TEL : 0857-31-5006

FAX : 0857-31-5018

E-mail : toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

## 【実証実験実施個所】

旧三江線竹・乙原間 竹1号林  
(島根県邑智郡美郷町乙原)



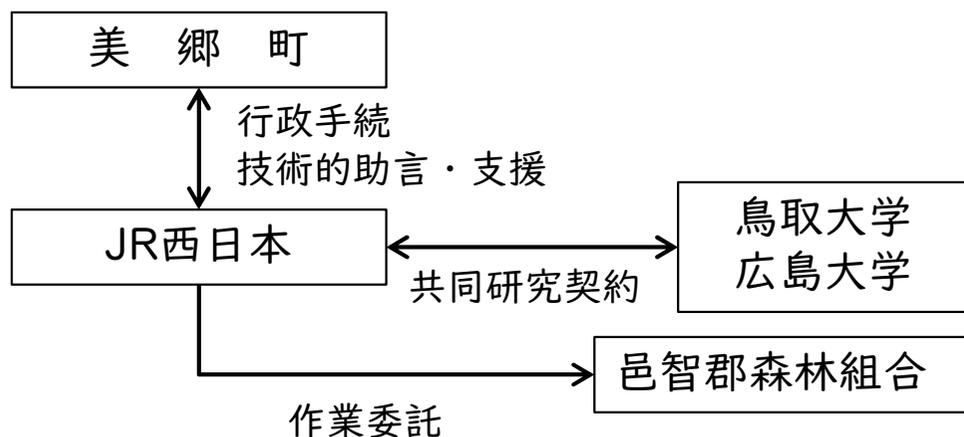
国土地理院ホームページより



対象の森林  
(鉄道林)

線路敷

## 【実証実験体制】



## 【実証実験スケジュール】

	令和6年度				次年度以降
	1Q	2Q	3Q	4Q	
★ 文書整理 契約手続					
事前準備・調査 行政手続	■				
秋頃 伐採、再造林			■		
評価 考察					■
					今後の展開 →

## 【実証実験の手順】

### ①森林資源評価

現地踏査



ドローン調査等



施業計画



再造林計画



資源量推定

### ②木材生産実証

伐採



集材



小運搬



積み込み



搬出



## 【令和6年度 研究テーマ】

鉄道林、周辺森林の森林資源の活用可能性評価

線路敷を活用した木材搬出技術の実証、評価

野生動物対策を考慮した再造林計画の検討